

2024年3月期 中間決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月2日

上場会社名 北海道歯科産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7693

URL <https://www.hokusan-kk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 山田 哲哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 神谷 康弘 TEL 011-813-5556

中間発行情報提出予定日 2023年12月13日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期中間期の業績 (2023年3月21日~2023年9月20日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期中間期	2,285	△0.1	12	△34.4	17	△35.7	10	△37.0
2023年3月期中間期	2,287	△4.4	19	—	27	—	16	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期中間期	2.18	—
2023年3月期中間期	3.45	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期中間期	1,228	634	51.6	132.11
2023年3月期	1,241	624	50.3	130.18

(参考) 自己資本 2024年3月期中間期 634百万円 2023年3月期 624百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	0.00	0.25	0.25
2024年3月期	0.00	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.25	0.25

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年3月21日~2024年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,742	2.9	35	△33.1	52	△25.3	35	16.5	7.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期中間期	4,800,000株	2023年3月期	4,800,000株
2024年3月期中間期	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期中間期	4,800,000株	2023年3月期中間期	4,800,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間財務諸表及び主な注記	
(1) 中間貸借対照表	3
(2) 中間損益計算書	5
(3) 中間財務諸表に関する注記	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染法上における位置づけが「5類感染症」へ移行されたことに伴い、個人消費やインバウンド需要の回復、企業の設備投資の増加など経済活動の正常化が進み、国内景気は穏やかな回復基調となりました。一方で、ウクライナ情勢の長期化や世界的な金融引締めに伴う景気の下振れ懸念、円安の進行を背景とした資源及び原材料価格の高騰等の影響により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、歯科関連業界におきましては、2023年4月～5月の歯科医療費が前年同期に比べ2.7%増となるなど、事業環境は緩やかな回復が見られました（厚生労働省ホームページ「最近の医療費の動向[概算医療費]-MEDIAS-令和5年度4月～5月」）。しかしながら、原材料価格の上昇による販売価格の見直しや、電気料金をはじめとした各種コストの高騰が重荷となっており、今後の経営環境は引き続き厳しい状況が予想されます。

当社におきましては、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限緩和を受けて対面形式のリアルセミナーを再開しました。また、オーラルケア関連市場の拡大を背景に、営業社員が歯科医師や歯科衛生士を対象に行う院内セミナーや歯科医院における窓口物販に関するコンサルティング活動の強化に取り組んだほか、歯科用器具の洗浄機や滅菌器などの小器械の販売強化に注力したことにより、主力の歯科材料や歯科器械の販売は堅調に推移しました。

このような環境のもと、当社の当中間会計期間における売上高は2,285,834千円（前年同期比0.1%減）、営業利益は12,932千円（前年同期比34.4%減）、経常利益は17,363千円（前年同期比35.7%減）、中間純利益は10,449千円（前年同期比37.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間会計期間末における、資産、負債及び純資産の状況は、次の通りであります。

(資産の部)

当中間会計期間末における総資産は1,228,963千円（前事業年度末比13,015千円減少）となりました。流動資産は975,472千円（前事業年度末比22,571千円減少）となり、これは主に現金及び預金が46,015千円減少し、売掛金が23,324千円増加したことによるものです。固定資産は253,491千円（前事業年度末比9,555千円増加）となりました。これは主にソフトウェア仮勘定が11,235千円増加したことによるものです。

(負債の部)

当中間会計期間末における負債は594,838千円（前事業年度末比22,265千円減少）となりました。流動負債は505,797千円（前事業年度末比13,418千円減少）となり、これは主に未払金が5,941千円減少及び未払消費税等が5,208千円減少したことによるものです。固定負債は89,041千円（前事業年度末比8,846千円減少）となり、これは主に社債が5,000千円及び長期借入金が5,000千円減少したことによるものです。

(純資産の部)

当中間会計期間末における純資産は634,125千円（前事業年度末比9,249千円増加）となりました。これは中間純利益の計上10,449千円及び配当金の支払1,200千円により利益剰余金が9,249千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年4月28日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月20日)	当中間会計期間 (2023年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	381,986	335,970
受取手形	421	697
売掛金	447,160	470,485
商品	130,181	142,952
貯蔵品	2,066	2,217
前払費用	11,669	23,197
その他	24,736	140
貸倒引当金	△180	△188
流動資産合計	998,043	975,472
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	53,999	52,886
車両運搬具(純額)	562	279
工具、器具及び備品(純額)	9,522	10,101
土地	64,177	64,177
リース資産(純額)	8,710	7,492
有形固定資産合計	136,972	134,937
無形固定資産		
ソフトウェア	1,803	1,333
ソフトウェア仮勘定	12,918	24,153
無形固定資産合計	14,721	25,487
投資その他の資産		
投資有価証券	8,133	8,133
出資金	10	10
保証金	36,940	37,640
保険積立金	30,355	35,414
長期前払費用	286	1,034
繰延税金資産	13,471	7,790
その他	3,044	3,044
投資その他の資産合計	92,241	93,066
固定資産合計	243,935	253,491
資産合計	1,241,979	1,228,963

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月20日)	当中間会計期間 (2023年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	355,004	358,336
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
リース債務	2,679	2,388
未払金	38,720	32,779
未払費用	9,672	7,555
未払法人税等	542	1,214
未払消費税等	16,254	11,045
前受金	4,461	—
賞与引当金	16,438	16,665
その他	5,442	5,812
流動負債合計	519,215	505,797
固定負債		
社債	60,000	55,000
長期借入金	5,000	—
リース債務	6,784	5,736
退職給付引当金	26,103	28,304
固定負債合計	97,888	89,041
負債合計	617,103	594,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,000	24,000
利益剰余金		
利益準備金	8,000	8,000
その他利益剰余金		
別途積立金	199,000	199,000
繰越利益剰余金	393,875	403,125
利益剰余金合計	600,875	610,125
株主資本合計	624,875	634,125
純資産合計	624,875	634,125
負債純資産合計	1,241,979	1,228,963

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年9月20日)	当中間会計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年9月20日)
売上高	2,287,133	2,285,834
売上原価		
商品期首棚卸高	126,381	130,181
当期商品仕入高	1,963,878	1,950,758
合計	2,090,259	2,080,939
商品期末棚卸高	146,141	142,952
売上原価合計	1,944,118	1,937,987
売上総利益	343,015	347,847
販売費及び一般管理費	323,298	334,914
営業利益	19,716	12,932
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	318	90
受取手数料	5,708	3,591
その他	1,686	978
営業外収益合計	7,715	4,663
営業外費用		
支払利息	92	30
社債利息	335	202
その他	0	—
営業外費用合計	427	232
経常利益	27,004	17,363
税引前中間純利益	27,004	17,363
法人税、住民税及び事業税	9,995	1,232
法人税等調整額	433	5,681
法人税等合計	10,429	6,914
中間純利益	16,575	10,449

(3) 中間財務諸表に関する注記

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる中間財務諸表への影響はありません。